

ハザードより

安泉寺ハザード会

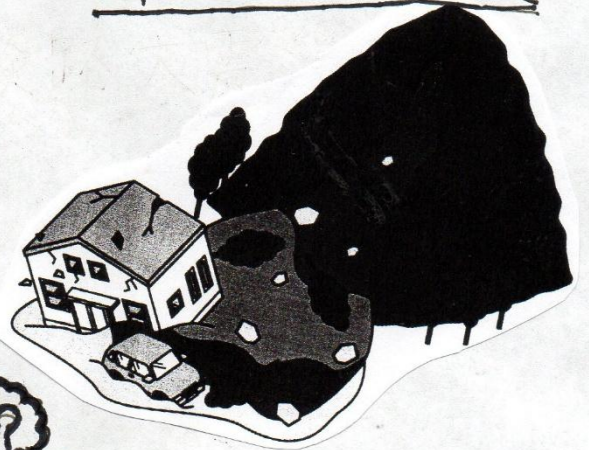
〒496-0945

愛西市三和町中割173-1

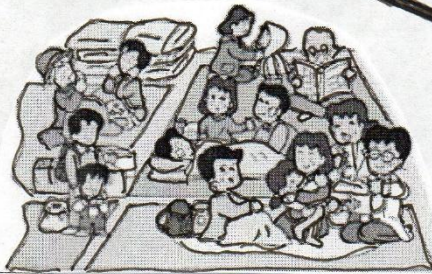
TEL 0567-28-0001

★ 30年前 = 阪神・淡路大震災

★ 1年前 = 能登半島地震



★ 30年前から変わっていないのは...?



避難所の状態

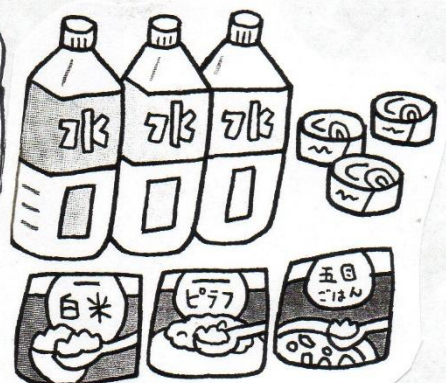
★ 避難所に行けなくても暮らせるように!!



家具の固定!



食料の備蓄!!



《 活 動 報 告 》 11月1日(金)

午前中、7月のボランティア活動先であった輪島市にある光栄寺を訪問しました。途中、のと里山海道から県道に入ったあたりから、山の斜面の土砂崩れの多さに驚きました。川に流れ込んだ土砂を取り除く為に重機で作業している所や、川に木が横たわったままの所など様々でした。住職さんとお話をしている中で、もしよければ避難所と、現在住んでいる仮設住宅をご案内しましょうか、というお話をいただき、見学させていただく事にしました。訪れた避難所は地域の公民館で、8月にいったん避難所としての役目を終えたものの、9月の豪雨で再度避難所となったそうです。寝泊まりするスペースは、腰くらいの高さの段ボールで区切られ、その区切られた小さなスペースに布団や身の回り品が置いてあるといった様子で、テレビなどで見たそのままでした。職員の方は、届いたお弁当を仕分けしたり昼食準備の最中でした。もともとこの公民館には3名の職員さんがおり、その3名で避難所を運営しているという事でした。公民館のすぐ隣の敷地に仮設住宅が建ち並んでいました。もとはゲートボール場だった所に8棟、40世帯程住んでいらっしゃるようです。ご案内いただいたお部屋は1人から2人用のお部屋で、間取りは、玄関を入るとキッチン・洗面台・洗濯機置き場として3畳程のスペース、奥には洋間6畳。洗面台の横にはコンパクトながらバストイレ別、単身者用の賃貸アパートといった趣きです。エアコン・IHコンロは備え付け、洗濯機・冷蔵庫・テレビは持っていなかった為支給されたそうです。外には、戸別に小さな物置がありました。入居人数が3人以上や、車いす利用者がいる場合などは、洋間6畳が1部屋増える等の違いがあるようです。その後、輪島朝市を視察し、帰路につきました。

《 3日間の感想 》

避難所と仮設住宅内に入らせて頂いた事が何より印象に残っています。率直に、入りたくない、耐えられそうにないと思いました。愛知県で震災が発生した場合には、賃貸住宅を仮設住宅とみなして利用するなど、能登の状況とは対応が異なる部分はあると思います。大事にしないといけないと思ったのは、避難所、仮設住宅にお世話にならない為に、その手前の段階で何ができるのかをしっかりと検討し、実行する事だと思います。建物の耐震化などという事になるのだと思いますが、地盤の液状化、河川の氾濫、津波、これらを考え出すと、どうにも考えられなくなります。冬の間は雪などによって、能登へボランティア活動に行く事は難しくなると思います。その間にこれまで能登で見た事、聞いた事、経験した事、感じた事などをあらためて自分なりに整理して、悩みたいと思います。